

令和4年度 保健師職能交流集会 開催要領

1 目的

地域包括ケアシステムを推進するうえでは、看護職間での連携が不可欠である。

今年度の長崎県看護協会の重点目標である「地域包括ケアシステムの充実に向けた看護の役割推進」の重点事業である「非常時における健康危機管理体制の強化」に基づき、「アフターコロナにおける地域包括ケアシステムの現状と課題」～行政(保健所・市町等)、企業、病院、地域包括支援センター等の保健師等看護職の連携構築を考える～をテーマに、保健師職能交流集会を開催する。

コロナ禍にあったこの3年を振り返り、アフターコロナにおける保健師・看護職の役割とネットワークについて考え、地域における実効性のある看護職連携の構築・強化を図る。

2 テーマ

「アフターコロナにおける地域包括ケアシステムの現状と課題」

～行政、企業、病院、地域包括支援センター等の保健師等看護職の連携構築を考える～

3 主催

長崎県看護協会 保健師職能委員会

Zoom オンラインで
聴講できます！

4 日時・場所

令和4年12月10日(土)13:30～16:00

ながさき看護センター 4階 大会議室 (〒854-0072 長崎県諫早市永昌町 23-6)

5 実施方法

基本集合研修とするが新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては ZOOM を活用

*集合研修であっても講話・情報提供については、Zoom にて聴講可

6 内容

13:00～

受付

13:30

開会 挨拶 長崎県看護協会 会長 西村 伊知恵

13:35～14:05

講話「これからの新型コロナウイルス感染症の対策と
アフターコロナに向けた公衆衛生活動(調整中)」
講師:長崎県県央保健所 藤田 利枝 所長

14:05～15:00

情報提供(各15分)
「コロナ禍における地域包括ケアシステムの現状と課題」
～行政、企業、病院、地域包括支援センター等の保健師等看護職の連携構築
を考える～

(1)地域包括支援センターの立場から

松浦市地域包括支援センター 平田佑三郎 副主任

(2)企業の立場から

三菱重工業株式会社 HR マネジメント部
長崎 HR ビジネスパートナーグループ 健康衛生チーム
馬場 綾乃 保健師

(3)市町の立場から

長崎市 市民健康部 地域保健課 川崎マサ子 主幹

15:10～15:50

グループワーク
コロナ禍を振り返り、アフターコロナに向けて地域包括ケアシステムを推進する
保健師看護職の役割、所属の機関で出来ることを考え、お互いの連携を深
める。

1)コロナ禍における看護職間の連携について

2)アフターコロナについて考える

発表

助言 長崎県県央保健所 藤田 利枝 所長

15:50～15:55

保健師職能委員会活動報告
長崎県看護協会 保健師職能委員長 稗圃 砂千子

16:00

閉会 挨拶 長崎県看護協会 副会長 日野出 悦子

- 7 対象者 県内の医療、行政、企業、地域包括支援センター等に勤務する保健師
(非会員を問わず参加可)、その他テーマに関心のある看護職
- 8 参加費 会員 無料、非会員 500 円(事前振込)

振込先:十八親和銀行 諫早駅前支店
(普)0168069 公益社団法人長崎県看護協会

- 9 申込方法 参加申込書により FAX またはメールにて令和4年12月2日(金)までにお申込みください。※メールでお申込みの場合は、件名「保健師職能交流集会申込」、本文に1.参加者情報・所属、2.参加費について入力し送信してください。

【お申込み及びお問合せ先】

長崎県看護協会 総務部

TEL 0957-49-8050/FAX 0957-49-8056

E-mail:soumuzooml@nagasaki-nurse.or.jp

保健師職能交流集会参加申込書

勤務先・所属	
申込責任者	
住 所	〒 TEL:
メールアドレス	

1. 参加者

	氏 名	職 種	参加方法※どちらかを選択 (会場 or オンライン)	長崎県看護協会 会員 or 非会員
1			会場 ・ オンライン	会員 ・ 非会員
2			会場 ・ オンライン	会員 ・ 非会員
3			会場 ・ オンライン	会員 ・ 非会員
4			会場 ・ オンライン	会員 ・ 非会員
5			会場 ・ オンライン	会員 ・ 非会員

2. 参加費(事前にお振込みください。振込手数料はご本人様の負担となります)

・非会員の方は、入金日を記入 ⇒ _____月_____日_____人分入金しました

3. コロナ禍における保健師の役割や看護職間の連携について、他の参加者に聞いてみたいこと等何かあれば、ご記入ください。

[_____]